

要旨	3
1. これまでの整備経緯	6
2. 沿線地域の変化	10
2.1 経済社会統計データからみた地域の変化	10
1) 製造品出荷額	10
2) 工業団地への進出企業数	11
3) 観光客流動	12
4) 通勤通学流動	14
5) 買い物流動	15
6) 交通量	16
7) 高速バス系統	17
2.2 地域に大きなインパクトをもたらしている開通効果	18
2.2.1 直接効果	18
1) 三次医療施設への救急搬送ルート	18
2) 県北内陸部への石油製品搬入ルート	19
2.2.2 間接効果	20
1) 大館市における企業進出・設備投資	20
2) 秋田県北地域のリサイクル産業の発展	27
3. これからの日沿道開通を最大限活用した地域展開方策の立案、実行に向けて	31
3.1 これまでの開通効果の整理・分析結果から見た地域展開方策の方向性	31
3.2 既に始まっている新たな地域展開	32
1) 『エネルギーのまち』の構築(能代市)	32
2) 東京オリンピック・パラリンピック授与メダルへの リサイクル回収金属の活用提案(大館市)	33
3) 新たな企業進出・設備投資の受け入れ環境整備(工業団地拡張)(大館市)	34
4) 台湾からの誘客への取り組み(大館市)	34
5) 定住・交流の拠点化(北秋田市)	35

※今回とりまとめた「これまでの日沿道開通による効果」は、今後の開通を見据えた地域展開方策の立案・実行に県北地域で連携して取り組んでいくことに活用する目的で整理したものです。このため、以下のような点に留意してとりまとめています。

- ・県北地域全体で整理・分析しました。
- ・直接的な開通効果よりも、間接的な効果や開通により沿線地域にどのような変化があったかに力点をおいて整理しました。
- ・また、間接的な効果については、相乗効果を発揮している要因(地域の特性や資源、地域における施策・取り組み)にも着眼して整理しました。